

しんおんせん

第4号 平成18年10月発行

議会だより

発行 兵庫県美方郡新温泉町議会
編集 議会広報調査特別委員会
〒669-6792
兵庫県美方郡新温泉町浜坂2673-1
TEL (0796) 82-5628



ゆめっこ 元気にうんどう会

暮らしの条例制定・改正	2
新町の決算を認定	6
主な補正予算	9
委員会報告	10
町政をただす(9名)	12
ふるさと寄稿	20

条例関係全て可決

平成18年第6回定例会が9月6日に招集され、29日まで24日間の会期で開会し、町長から条例案13件、事件案10件、契約案2件、人事案1件、平成18年度補正予算案6件、平成17年度新町の決算認定案14件の提出があり、追加議案として事件案1件が提出され、本会議で審議ののち採決しました。

請願書1件は所管の総務常任委員会調査・審査を行い採択し、議員提出の政府関係機関への意見書(案)3件を採択しました。

一般質問は、9月6日、7日に行われ、9名の議員が町政全般について質しました。

●総合支所設置条例の一部改正

【提案理由】平成19年1月1日より、現在建築中(夢ホール隣り)の温泉総合支所の移転に伴う改正
賛成16・反対2

旧町においても議論されていた、住民利便性確保のためのバスの運行はどうか。
【答】現在全但バスと協議を進めている段階である。

●国民健康保険条例の一部改正

【提案理由】健康保険法等の一部改正による改正(改正内容)現役並みの所得水準では、2割負担が3割負担となる。
出生育児一時金30万円が35万円となる。
賛成16・反対2

反対討論(谷口功議員)高齢者医療費無料の思想が、逆行する方向で改正され、現役並の所得のある人にとって、負担増となる。よって反対する。

●リフレッシュ館施設整備基金条例の廃止

【提案理由】リフレッシュ館に指定管理者制度(株夢公社に委託)を適用し、特別会計を廃止したことに伴い、基金条例を廃止する。
賛成18・反対0

施設の老朽化により、計画的な改修計画はどうか。
【答】配管部分の改修が必要であり、又歩行浴専用施設を検討中。プールの安全点検はしたか。
【答】点検し、問題はなかった。

●町営単独住宅条例の制定

【提案理由】旧神戸地方法務局湯村出張所建物の2階を町営単独住宅として再利用するため、条例の制定を行う。
(施設概要)3DK3室
駐車場、温泉配湯あり
低所得者対象、家賃月額4万円

11月オープンの特養「はまさかの里」に 二日市温泉を配湯

●温泉配湯事業設置管理条例及び温泉供給条例の一部改正

【提案理由】温泉配湯事業設置管理条例に二日市温泉配湯事業を、温泉供給条例に二日市温泉を加えるため。

●二日市温泉配湯事業施設整備基金条例の制定

【提案理由】二日市温泉配湯事業の設置に伴い、施設整備に充てるため。

低所得者といいたがら、家賃が高い。
【答】税引き所得で計算しないし、施設からして妥当と判断する。
民間と競合しないか。
民間も満室とは聞いてなく、十分配慮したい。

強制執行の停止求める

町有肉用雌牛貸付事業で、融資している農家に対し飼料会社より貸付牛に對し、差押がなされ急遽左記手続きについて、議会議決が求められた。

訴訟の提起について

町有肉用雌牛の強制執行に対する第三者異議の訴訟

【提案理由】町有肉用雌牛の所有権を明らかにし、第三者が行う強制執行を停止させるため。
賛成多数で可決

賛成多数で可決

【答】町の所有権が認められるのか。弁護士の見解では、認められる予定である。
執行停止後の、町としての対応は如何考えているか。

【答】本人並びに保証人を交えて協議する予定となっており、債権保全に全力を尽くしたい。



特養「はまさかの里」完成

美方広域消防事務組合

美方郡広域事務組合

を統合し

美方郡広域事務組合

事務所：湯地内の「健康福祉事務所」跡に

◎美方広域消防事務組合の解散

【提案理由】

美方広域消防事務組合を、平成19年4月1日から美方郡広域事務組合に統合するため、平成19年3月31日を持って解散する。

■ なぜ統合する必要があるのか。

【答】 行政改革の中で、複合事務組合の再編は必要。

■ 住民サービスは低下しないか、火葬場（香住）はどうなるか。

【答】 効率化し、低下しないよう努力する。香住の火葬場は、当面、香美町で単独維持する。

反対討論（谷口功議員）

主たる根拠が示されておらず、住民サービス低下はないと言いが、具体的に示されていない。議論が積み上がっていない段階であり、反対する。

賛成14・反対4

◎美方広域消防事務組合の解散に伴う財産処分

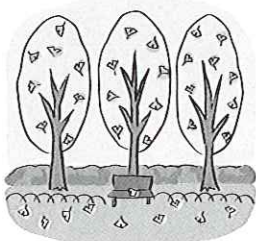
【提案理由】

美方広域消防事務組合を解散することに伴い、その財産処分等を行う。

反対討論（西村銀三議員）

美方広域消防のあり方、統合後の管理者のあり方すら解からない、たった一回の総務委員会での論議で、美方広域消防事務組合の解散を認めるわけに行かない。よって反対する。

賛成13・反対5



◎美方郡広域事務組合規約の変更

【提案理由】

美方広域消防事務組合の解散に伴う事務の承継及び地方自治法の一部改正に伴う。

問 組織問題、規約問題

について、それぞれの事務組合で十分議論されたのか。

【答】 過去数回、町長、議長で議論を重ね、一定の理解を得たと解釈している。

反対討論（西村銀三議員）

二つの事務組合が結婚したけど、別居します。このような条例がまかり通ってよいのか、執行部の強引さにあきれられる。よって反対する。

賛成13・反対5

●「恒久平和の町」を宣言

【提案理由】

非核三原則の堅持と恒久平和の実現を願い、戦争のない明るく幸せな生活を守る決意を表明するにあたり、恒久平和の町を宣言する。

問 宣言のみにとどまらず、わが町がどのように取り組むのか、行動を起こすべきである。

全国でどのくらいあるのか。

【答】 可能な範囲で行動展開をしたい。合併前は25市町が宣言していた。

全員賛成で可決



平和のシンボル「夢千代館」

契約関係

浜坂公共建設残土処分場内整地工事変更契約

金額 8,940,750円増
 (全体額 168,261,450円)
 契約相手 株本建設工業株式会社

浜坂公共建設残土処分場内調整池設置工事 変更契約

金額 3,775,800円増
 (全体額 82,525,800円)
 契約相手 株本建設工業株式会社

問 残土処分推進協議会との関係が上手く行っていないと聞かすが、どうなっているのか。
答 役員会など定例的に開催出来ていない部分もあり、今後十分協議しながら進めたい。

人事

教育委員 選任同意
 11月任期満了により
 再任に同意
 中井 功氏
 (飯野)



産業建設常任委員会 海上浮田堰隧道現地調査

●町営海上浮田堰隧道地区土地改良事業の施行について

※平成18年4月隧道崩落、約8haの農地の作付けができず、県に要望をしてきた。今回、補助メニューの見通しがついたため、議会議決が求められた。

工事概要

1. 施行年度 平成18年度から19年度
2. 名称 町営元気な地域づくり交付金事業
3. 場所 新温泉町海上地区
4. 概算事業費 48,000,000円以内

＜財源内訳＞

国、県 61% 町 29% 地元負担 10%

請願

請願を総務委員会にて審議、
 必要性を認識し意見書提出
 を採択しました。

出資法の上限金利の引き下げ等「利息制限法」、「出資の受入れ、預り金及び金利等の取締りに関する法律」及び「貸金業の規制等に関する法律」の改正を求める請願書

請願者 兵庫県司法書士会

会長 島田 雄三

兵庫県司法書士政治連盟

会長 福田 見正

司法書士 橋本 勝由

紹介議員 岡本 英樹

紹介議員 西脇 明

【請願趣旨】

- ① 利息制限法の制限金利を、市場金利に見合った利率まで引き下げること。
- ② 出資法の上限金利を、利息制限金利まで引き下げる。
- ③ 貸金業規制法の「みなし弁済」規定の撤廃
- ④ 出資法の、日賦貸金業者等の特例金利廃止

議 員 発 議

意見書 4 件関係機関に提出

出資法の上限金利の引き下げ等「利息制限法」「貸金業の規制等に関する法律」の改正を求める意見書

提出者 寺谷 健議員
賛成者 西村 銀三議員
賛成者 高橋 邦夫議員

【趣旨】

国会でも問題となつていて、サラ金業者並びにやみ金融による不当な貸出金利が社会問題となつており、提出された請願の内容は緊急課題事項であり、政府関係省庁に意見書の提出を求める。

地方道路整備促進と財源確保に関する意見書

道路特定財源は「行政改革推進法に基づき、一般財源化を図ること前提に検討する……」となつてはいるが、地方における道路網の整備は著しく遅れており、道路財源を確保すべく政府関係省庁に意見書の提出を求める。

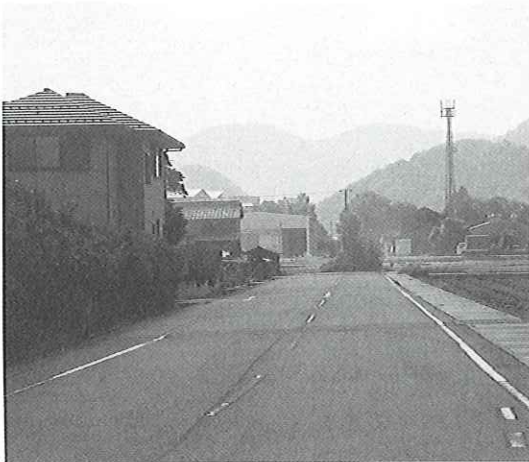
提案者 宮脇 諭議員
賛成者 植田 光隆議員
賛成者 小林 一義議員

日本海漁業の安全の確保に関する意見書

本年7月日本海で操業中香住漁協所属漁船10隻が、自衛隊の訓練に遭遇し、危険を感じ緊急避難する事件が発生、今後次の事項を善処するよう政府関係省庁に意見書の提出を求める。

○日本海で訓練等により、漁船及び海上交通に脅威を与える恐れのある行動については、あらかじめ関係自治体を通じ、住民、漁業者に十分周知徹底を図ること。

提案者 宮脇 諭議員
賛成者 岡坂 峰雄議員
賛成者 谷口 功議員



町道福富落合線予定地（国道178号線に接続）

公立病院の医師確保に関する意見書

医師臨床研修制度の変更を契機に、公立病院の医師の急速な減少により、大病院等に懇請するも、その補充は極めて困難な状況である。

○但馬地域の公立病院への医師充足配置について、国、県において緊急対策すること。
○大学医学部定員の改善など実施すること。

以上政府関係省庁に意見書の提出を求める。

提案者 谷口 功議員
賛成者 岡坂 峰雄議員
賛成者 岡本 英樹議員

陳情書

町道海上河合谷線道路改良について

陳情人 海上区長 尾崎 義博
役員一同

行政の公平性求め認定

本会議採決の結果、賛成13名

(一般会計)

収入 70億5,178万円

支出 66億5,532万円

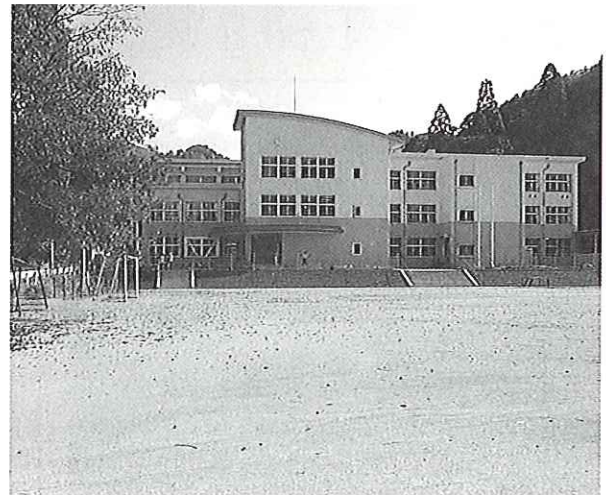
主要な普通建設事業

(単位：円)

工 事 名	金 額
照来小学校増築・改修工事	135,267,900
浜坂西小学校校舎棟増築・耐震補強・大規模改修工事	259,243,752
町営住宅井土団地建設工事(第2期)(井土地内)	170,550,000
特定環境保全公共下水道事業マンホールポンプ設備工事(第4期)(湯地内)	105,000,000
上山高原ふるさと自然塾(本館)建築工事	101,836,950

公債費の状況

区 分	平成17年度
公 債 費	801,288千円
支出総額に占める割合	12.04%
町債未償還額	14,670,323千円
公債費比率	20.8%
起債制限比率	14.3%



浜坂西小学校

監査委員報告

昨年10月に新町が発足し、合併初年度における、事務事業の推進に取り組んでいるところでありますが、特に今後益々加速する少子・高齢社会に対し、これらに対応した諸政策等に取り組み、重要な行政課題等を解決するかが職員各位の今後の使命であり、地域住民の大きな期待であると考え

現況においては、合併

前の起債償還額における、公債費比率のアップによる起債制限が加わってきて秩序ある財政運営、財政規律が求められる。合併による効果

を速やかに発揮するための行財政改革等の実施に取り組んでいるところである。

特に、自治体病院の宿命であることの自覚、認識に立つたうえで重要な課題である病院事業における不良債務の解消、また、年々増え続けて行く下水道事業の繰出金等住民のコンセンサスを深めて行くことも必要不可欠であると考え。

主な質疑

区長報償費の格差解消

問 区長報償費の格差を解消するべきである。

答 浜坂地域と温泉地域で区長業務に差があるのか。

答 区長の代表で平成19年4月に統一すべき調整いただき、9月26日に全体会を予定している。

問 町長は、区長の報償費を18年度予算で統一する答弁をしていたが、担当課の19年4月統一答弁との食い違いは何か。

答 予算の範囲内で、均等割・世帯割の見直しをお願いしており、18年度中に一本化していただくようお願いをして行く。

支所にバス乗入れを

問 新しい総合支所一帯は公共ゾーンとなる。バスの循環で足の確保を求める。

答 全但バスに4路線の早い時期の方向づけをお願いしている。

17年度 一般会計 決算

合併後の初年度6ヶ月 (平成17年10月1日~平成18年3月31日)

職員の意欲高める研修

問 職員の自発性と意欲を高める研修を行うよう求める。

答 職員を育てる研修の機会づくりを行いたい。

税の公平性の確保

問 町税の滞納整理が緊急課題であると監査指摘されているが、対応を伺う。

答 企業の経営不振、倒産で滞納額が増えている。滞納処分をして行きたい。

問 納税の公平・平等性の確保を求める。

答 徴収に手が足りないなら増員すべきである。職員一丸となって徴収に当たりたい。

問 徴収人数が不足しておれば対応しなければならぬ。

答 固定資産税の滞納は債権保全するべき。

問 対応していきたい。

答 滞納金額が増えている要因は何か。

答 大口滞納者の収納が進んでいない。

農林振興の放送を

問 C A T V放送の当初の目的である地域に密着した農林業振興の情報放送を求める。

答 普及センター、農協とタイアップして対応したい。

安心・安全な町づくり

問 救急車の出発が遅いのは何故か。事前に受け入れ病院を把握しておくべきである。

答 夜間、土日は鳥取の当直医の名簿を持って対応を検討したい。

予算・財政の方針

問 町の財産・借金を一覧にしたバランスシートを決算時に提出できないのか。

答 バランスシートは決算と併せて出すのが通常であるが、合併直後で整理が必要であり、12月に提出したい。

問 3表は作成するのか。

答 (行政コスト計算書・資金収支計算書・純資産変動計算書)

問 年度内には作成したい。

答 町長は農業・漁業振興の方針をもって予算反映を求める。

問 農業・漁業の方針を示したい。

答 中大規模農家の育成だけでなく、小規模農家・兼業農家の育成も図らなければならない。

問 特養ゆむらの補助金69万円どういうお金か。

答 債務負担の不足分である。

問 なぜ補助金か。債務負担が完了したら、返してもらえるか。契約

答 書か覚書はあるのか。

問 条例にもとづいて行った。

問 全体に不要額が多すぎるのはなぜか。

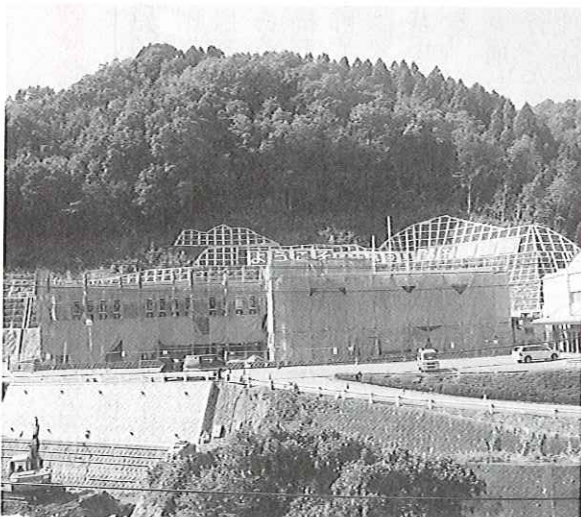
答 入札・執行残もあるが、両町の予算を持ち寄ったことも要因の一つである。

問 浜岡地区の区画整備はどうなっているのか。

答 関係者は95件あるが年度内に結論をだす。

問 浜坂・温泉地域の格差を速やかに調整せよ。

答 合併協議で3~5年の間に協議・調整となっている。



温泉総合支所建設工事

反対討論 (谷口功議員)

平成17年度一般会計予算は、旧町の予算をそれぞれ持ち寄った予算で、詳細な問題を議論するものではありませんが、主要な点を指摘しておきたい。

第一に、自治体における予算の扱いが極めて曖昧であったこと。自治体予算は、法令や条例等に準拠して厳格

厳密に積算されるべきものであり、予算総計主義の原則に立ったものである。しかし合併

推進の繁忙期であったとはいえず、あまりにも曖昧にされていた。

第二に、契約のあり方についても適法・適切な執行であったのか

厳格な反省を求めたい。

第三に、小泉改革の下、くらし、営業の悪

化、格差と貧困が拡大しており、町民生活を守るという見地が欠落しており反対する。

13 特別会計 決算認定

11 会計は全員賛成、2 会計は賛成多数

特別会計 決算額

(単位：円)

No.	会計名	収入	支出	差引残額
1	国民健康保険	1,047,399,403	999,527,079	47,872,324
2	老人保健	1,197,178,766	1,197,178,766	0
3	介護保険	563,193,134	562,141,033	1,052,101
4	公共用地取得等	57,741,204	57,741,204	0
5	バス運行	6,720,460	6,720,460	0
6	リフレッシュ館	59,572,236	59,572,236	0
7	浜坂地区残土処分場	249,071,575	88,750,370	160,321,205
8	温泉地区残土処分場	79,914,731	76,181,320	3,733,411
9	コミュニティ・プラント	60,868,836	60,265,146	603,690
10	宅地造成	2,422	0	2,422
11	簡易水道	12,044,907	8,531,604	3,513,303
12	七釜温泉配湯	12,456,548	8,751,892	3,704,656
13	下水道	975,914,392	933,076,393	42,837,999
	合計	4,322,078,614	4,058,437,503	263,641,111

監査委員報告

平成17年度における13事業特別会計の歳入決算額は、4,322,079千円、歳出決算額は、4,058,438千円で、歳入歳出差引残額は263,641千円となっている。国民健康保険事業で収入未済額は、71,586千円であり、徴収率は79.26%である。

る。又下水道事業では、使用料についても公共下水道28件、898千円、特定環境保全公共下水道5件、120千円、農業集落排水4件、155千円、コミュニティ・プラント2件、63千円、併せて39件、1,236千円の未収金があり収納について適正な措置を執行されたい。

国保会計

反対討論(谷口功議員)

国民健康保険税は高く払えないという声が多くある。旧町の国保会計の持ち寄りであったが、旧町それぞれの会計の基金(貯金)の残高は国の指導基準を大きく上回っている。一定、この基金を取り崩して税の引下げを行ったが、国の基準を上回る基金があるのだから、思い切った取り崩しによる引き下げと、国保税額算定根拠となる医療給付費は、3ヶ年平均値を取ることにしているが、もう少し厳密な把握と積算を行い、税額を引き下げることを求め反対する。

リフレッシュ館

反対討論(谷口功議員)

リフレッシュ館の事業は第三セクター夢公社に管理運営を委託している事業である。この事業が歴史的に果して来た役割は評価をするが、元々、

賛成討論(寺谷健議員)

リフレッシュ館は、地域活性化の拠点施設として目的を果たし、運営にあたっている夢公社は町民の参画によって運営され、雇用の場の確保にも大きく貢献している。合併後も健康づくりの施設として多くの町民に利用されている。利用者が減少したとは言え、当初の目論見の1.5倍の利用がある。新町の活性化にも貢献しており賛成する。

起債(借金)と公債費(借金返済)

起債(借金)の残高は、平成17年度末で一般会計約147億円、特別・企業会計約153億円、合わせて300億円になっております。

公債費(借金返済)の期間は、借入れ対象施設等の耐用年数を基準に決められております。

短いもので5年、長いもので30年になっており、計画的に返済していくものです。

公債費比率(普通会計に対する元利返済の負担率)は、平成17年度末は20.8%と高くなっています。

起債制限比率は、平成17年度末で14.3%になっています。望ましい率は14%以下です。

実質公債比率は、平成17年度から公表される数値で、一般会計、特別・企業会計を含めた数値で16.0%になっております。

望ましい率は18%以下です。

町民の税金によって51%出資した株式会社であり、会計は会社が行う為、町民からは見えにくいという基本的な性格をもって。それだけに、より親切な説明が求められる。もうひとつは、他の町にも類似施設が設けられ、また観光事業の競争が益々激化しているとき、将来展望を明確にすること求め反対する。

一般会計 1億43,359千円追加 町道 福富落合線に着手

補正予算

平成18年度一般会計補正予算(第2号)は、1億43,359千円を追加し、予算の総額を101億33,254千円とする提案があり、質疑ののち、賛成15名(反対1名)で可決しました。(欠席3名)

特別会計の補正予算

(単位:千円)

会計区分	補正額	補正後
国民健康保険	1億3,015	17億96,683
老人保健	1,937	19億56,203
介護保険	2,461	11億57,010
温泉残土処分場	750	61,750
下水道	28,477	10億17,133

一般会計の主な支出補正

(単位:千円)

地域振興事業補助金(29件)	3,443
緊急防災林整備事業補助金(緑税活用70ha)	19,845
町道福富落合線等	61,000
温泉小学校進入路土地購入費(建物補償含む)	48,715
農林水産施設災害復旧費	32,006

資源ごみ回収団体の奨励金大丈夫か

問 資源ごみ回収団体の奨励金の見込み額は、年度末まで大丈夫か。
答 399tの回収で160万円支出しており、8月以降の回収量を見込み、1,623千円を補正する。

温泉小土地購入費何故補正なのか

問 温泉小学校の土地購入費、当初予算に上っていないのは何故か。
答 進入路が狭く、地権者と協議していたが、当初予算の編成時期に確定しなかった。4月下旬に交渉が成立したので、町土地開発基金で対応し、今回補正をお願いした。

問

幼稚園の預り保育は保護者の意向を聞いた上での実施か。

答 預り保育アンケート調査では、午後5時ま

での意向があったが、現職員での対応を検討した結果、午後3時までとした。

問 浜坂北小の雨漏は当初から指摘されていた。屋根修理の専門業者の調査を求める。
答 専門業者の指導を受けて対応したい。

問 旧照来幼稚園舎の瓦が落ちそうである。早急な対応を求める。早調査して対応したい。

万全な防災体制

問 7月18日・19日の豪雨の防災体制、町長・助役が不在で責任ある体制が取れていたのか。住民の安全を最重視した万全な防災体制を求める。
答 災害時は、人命と安全・安心の確保が最重点である。責任者の立場として、安全・安心に十分対応していく。

福祉施策の方針

問 福祉施策で上乘せ横出しをしないといていたが、節度をもって町がカバーするよう求める。
答 取捨選択が必要であるが節度ある対応をしたい。

町づくりは人づくり

問 平成10年に人権啓発条例を施行、8年間経過したが条例に基づいた町づくりができたか。町づくりは人づくり、誇れる町づくり・人づくりを求める。
答 人権啓発推進委員会に啓発方針を諮問し、答申をいただき、行政施策の体系づくりと啓もう・啓発に取り組む。



温泉小学校基礎工事



委員会報告

総務

総務課

○報告事項

①財政計画について

■ 今後の財政見通しについての資料の提出を求める。

答 12月までに作成し公表したい。

○協議事項

①温泉総合支所設置等について

■ 総合支所周辺にバス停の設置を求める。

答 全但バスに協議している。

②美方郡広域事務組合に関する件について

○その他

①湯財産区との覚書に係る行政財産について今後所管事項としてつなぐよう求めた。

②町名のただし書きの整理を求める意見もあった。

税務課

○報告事項

①8月末現在の徴収実績と特別徴収状況について

文教民生

町民課

○報告事項

①平成18年度（8月末現在）ごみ及びし尿等受入れ状況について他1件

○協議事項

①消防団の設置等に関する条例の一部改正について 他3件

消防団の関係の条例改正について

福祉課

○報告事項

①へき地保育所の再編について

赤崎・御火浦を園児減のため浜坂・大庭保育所に統合（小学校区に合わせ）

■ 将来見通しはどのように提案しているのか。

答 地域の合議を得て統合を推進したい。

■ 何時を目途に統合するのか。

答 平成19年度の統合と説明している。

企画課

○報告事項

①ケーブル事業加入状況について

②総合計画策定審議会・行財政改革推進会について

③合併1周年記念音楽祭について

○協議事項

①過疎地域自立促進計画の変更について

②ケーブルテレビ事業計画について

■ 現状を踏まえ検討するよう対応を求める。

答 補助事業も含めて調整中である。

※継続的に調査・審議することとした。

③山陰海岸世界ジオパーク構想について

■ 仕掛け人の必要性・また町がリーダーシップを取らないよう求める。

答 行政が一定の支援をしていきたい。

※継続的に調査することとした。



ケーブルテレビ調整室

■ 保護者の声をどのように取り入れるか。

答 町の考えを含め意向・要望を聞いている。送迎・保育料・施設整備・延長保育等の要望が出ている。

■ 浜坂地域での幼保一元化については。

答 次世代育成支援行動策定委員会で議論して行く。

②特養「はまさかの里」の建設について

○協議事項

①「恒久平和の町」宣言について

②保育所運営について

※継続して審議することとした。

健康課

○報告事項

- ①平成18年度国民健康保健事業医療費・老人保健事業医療費・診療所運営状況等について

○協議事項

- ①国民健康保険条例の一部改正等、医療関係条例の一部改正2件について

水道課

○協議事項

- ①温泉配湯事業設置管理条例の一部改正・温泉関係条例の制定について

学校教育課

○報告事項

- ①学校給食センター管理・運営規則の一部改正について
- ②幼保の預り保育について 他4件

○協議事項

- ①夢が丘中学校プールの廃止について

社会教育課

○報告事項

- ①加藤文太郎記念図書館の利用状況について
- ②先人記念館利用状況について
- ③教育委員会の管理する公の施設の管理規則の制定及び一部改正について

公立浜坂病院

○報告事項

- ①公立浜坂病院事業の利用状況について
- ②公立浜坂病院医療体制検討委員会について

○協議事項

- ①病院事業の設置等に関する条例の一部改正について

産業建設

建設課

- ①町営細田団地 3戸

10月より募集、家賃は4万円である。

- ②街路事業「湾岸線の路線」変更について

浜坂駅から芦屋まで、予算22億円の予定で2区間に年次割りして1区間5～7年の目標をもって計画される。

下水道課

- ①下水道の接続状況について

今後接続率を上げることが急務だ。借入れ金返済のピークはいつか。

答 平成20・21年に来る。8月末日基金積立金総額3億1,764万円。

農林水産課

- ①町有肉用雌牛貸付事業に係る動産の差押・競売について

・飼料の代金が支払えず、差押執行が行われ、町有の貸付牛は強制執行停止を申し立てた。第1回弁論期日は10月26日の予定。

商工観光課

- ①「覚書」を変更して契約を湯財産区と締結する件

8月18日に湯財産区に説明、立会いに小林俊之議長の名が記入されているが、本人の了解得たのか。

答 9月5日承諾のお願いをした。

10月10日の委員会で「覚書」の最終調整は平成17年9月30日に押印したと課長が答弁した。9月定例議会の答弁と違うのはなぜか。

答 日記、他の関係書類で確認した。

関係書類全部の提出を求める。

答 後日提出する。

※委員会として継続審議することとした。

・約1億8千万円かけて改修予定。

- ②マリンポーチの今後を検討する委員会の設置について

・1億8千万円かけて改修予定。

- ③ペット温泉施設の建設、1,200万円に変更。

(はじめの予算1,750万円)

変更した理由はなぜなのか、具体的な資料の提出を求める。

答 後日提出する。



ペット温泉予定地(湯東駐車場)

一般質問

町政をただす

行政のコンプライアンスの徹底

町長 法令遵守に努めていきたい



西脇 明 議員

も企業並みに条例制定して取組んでいる自治体も多くあり、当町としてどのように取組もうとしているのか伺う。

物件費5%、工事関係10%以上保留することの指示、3月定例会で予算確定してすぐこのような指示、財政厳しい中での事とは伺えるが、当初予算の信憑性、並びに議会軽視ではないか。一律カットのあり方も乱暴である。事業の優先順位、地域要望など無視ではないか。

【町長】夕張市の破綻など起因して実質公債比率の公表、標準財政規模の10%基金確保など総合的に判断する中で、緊急災害等に備えるため、予算留保の指示をしたものである。区長協議会等協議して事業要望は考慮する。

【助役】予算編成時の特別地方交付税(合併特例加算)が予定を下回る可能性があり、財政調整基金確保のための指示で議会無視ではない。

住民要望の道路環境整備を

町長 年次計画での対応を進める



西村 公子 議員

民の期待は大である。特別養護老人ホーム入所者人命の緊急性、総合支所オープン、夢ホールイベント、大会等への対処できる車道、歩道、駐車場確保の必要性をたずねる。

【町長】緊急、災害どうしても必須の場合は取り組むが、有利な条件対応も模索していく必要がある。

問

企業におけるリスク管理の観点からコンプライアンス(法令遵守)は近年徹底されている。日常業務に負われ情性に流され本来の規定に沿った仕事を点検できない事がある。職員各位に業務上の責任感と倫理観を再認識する必要があると同時にあらゆる不正行為や不当要求から職員を守る必要がある。行政において

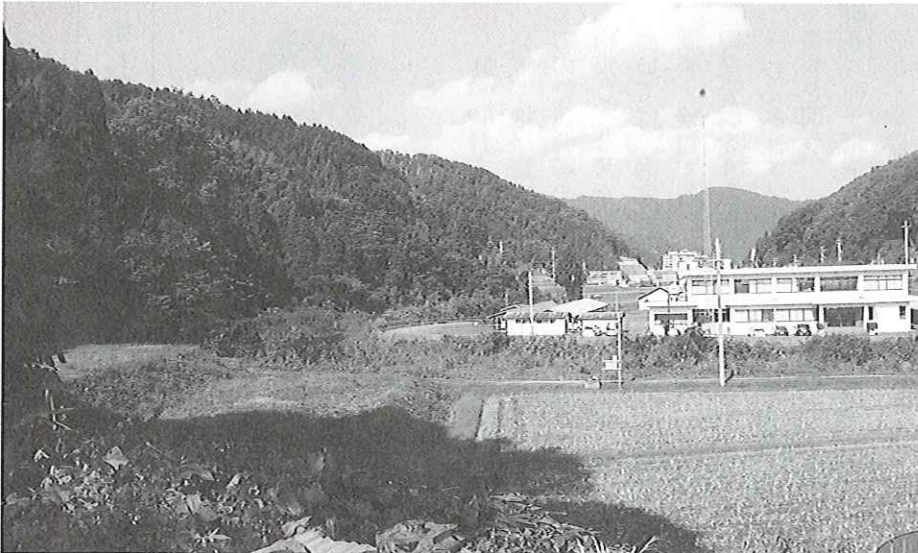
予算のあり方と事業推進

【問】6月1日付け助役名で各課に(予算執行で



温泉総合支所窓口

- ① 海上地内道路の迂回路改良の考えを求める。
- ② 美西クリーンセンター線の道は公的施設につながる道とは言えない狭小道路の改良に力を入れるべきである。
- ③ 歌長左岸道路は旧温泉町議会で採択、地域住民の期待は大である。特別養護老人ホーム入所者人命の緊急性、総合支所オープン、夢ホールイベント、大会等への対処できる車道、歩道、駐車場確保の必要性をたずねる。
- ④ 緊急、災害どうしても必須の場合は取り組むが、有利な条件対応も模索していく必要がある。
- ⑤ 海上地内道路の迂回路改良の考えを求める。
- ⑥ 美西クリーンセンター線の道は公的施設につながる道とは言えない狭小道路の改良に力を入れるべきである。
- ⑦ 歌長左岸道路は旧温泉町議会で採択、地域住民の期待は大である。特別養護老人ホーム入所者人命の緊急性、総合支所オープン、夢ホールイベント、大会等への対処できる車道、歩道、駐車場確保の必要性をたずねる。
- ⑧ 緊急、災害どうしても必須の場合は取り組むが、有利な条件対応も模索していく必要がある。
- ⑨ 集落周辺の方々からの懸案である。地権者の方々との交渉を大切に より精力的に展開していく。
- ⑩ 歌長区の活用、全町的な事業効果がはかれることをふまえ原案採択になった。3つの案を持ち比較検討した結



歌長左岸道路予定地（農村研修センター付近）

果、概算事業費2億円
の方向性が示された。
（延長450m、幅員
5m）新温泉町全体
中で適切妥当な執行も
大切。他路線について
もままならない状況で

ある。年次計画での対
応を進めていく。順番
を待つてほしい。今で
は何年度との明確な断
言は出来ない。ご理解
をいただきたい。

**合併の「ただし書き」は
町長 当局から提案しない**



岡坂 峰雄 議員

問 何回もの質問だが合
併の根幹をなす文言で
あり執行部に提案の責
務がある。どのように
結末をつけるのか。又
ただし書きは協定書か
ら抹消する事が必須で
あるが。

町長 両町の歩み寄りの
結果であり、執行部よ
り検討の提案をする性
格のものではないと認
識している。

**マリンポーチはなぜ
再館なのか**

問 就任直後マリンポー
チは取り壊す方向と述
べていたのに議会も知
らぬ間に再開を前提と

した委員会が結成され
協議もされているが何
故か。過去の経過を考
えても到底運営上無理
が有り多くの町民も望
んでもいないが何故強
行するのか。

町長 わが町は、海の町
であり国立公園でもあ
り豊岡、香美町、新温
泉町の協力体制の中で、
補助事業でなく、国、
県の助成策もいただき、
三者が一体となつて構
築する視点で進めてい
きたい。

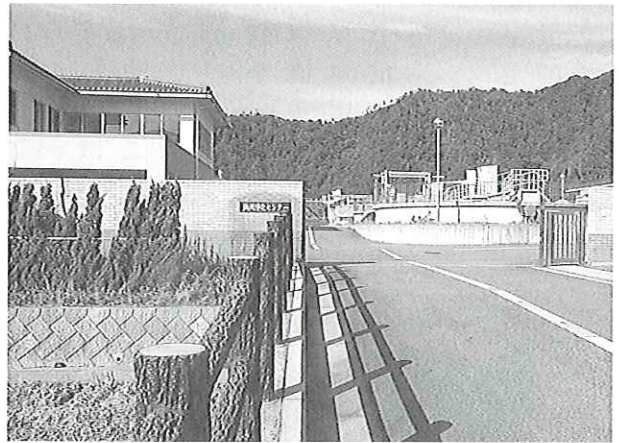
**下水道奨励金、
補助金の公平化を**

問 合併後には旧町間に
おいて住民受益に格差
があつてはならない。
何故温泉地区のみに奨
励金を支払うのか。予
算計上されている区長
報酬、自治会、婦人会、
観光協会、商工会その

町長 下水道奨励金は合
併協議での合意の引継
ぎであり、合併後3年
を目途に調整する。各
種団体の補助金等は諸
事情もあるが調整中
もあり永久的な差異は
残らない。

大庭地区ほ場整備は

問 この事業は私が問題



浜坂浄化センター

他多くの団体補助金等
は温泉地区が多いが何
故か。浜坂地区民は到
底許すことは出来ない
が。

提起して6年になりま
すが、質問の度に着工
年度が延びているが一
体どうなっているのか。
いつ着工に成るのか。
経済的に落ちこんだ町
の産業振興、町の繁栄
に大きな影響があると
思うが。

町長 受益者間に換地配
分を含め種々の問題が
あり延びているが、今
年12月に合意形成見込
みが立てば来年度事業
評価、20年着工の段取
りとなります。

医療を守る町民会議の設置は 町長 8月30日医療体制検討委員会を設置



寺谷 健 議員

遅れた。

熊の工サ場確保を

問 熊の出没が例年より早く、梨に被害が発生し捕獲オリの設置等の対策を講じているが、

県民緑税の事業を活用して深山に工サ場の確保の取り組みを求める。

町長 県民緑税の事業として、平成19年度から中辻地区に野生動物育成林整備事業を要望し、地区と協議のための現地調査を実施している。

問 昨年12月定例会において、地域医療についての委員会等の設置を約束し、3月定例会においては、医療体制の調査・検討するための町民会議を4月に立ち上げる約束をされたが、実態を伺う。

町長 何を議論いただくのか、病院の形式的な議論ばかりでなく、中身に相当踏み込んだ議論でなければ事足りない等の意見をいただき、病院スタッフの考え方を一定整理した後に議論いただくべきであると判断し、医療体制検討委員会の立ち上げが

泉を利用した砂風呂、七釜温泉に七つの薬草釜風呂

町長

①浜坂温泉は800戸に給湯しており、温泉に余裕が無い。湯村温泉は財産区の管理であり、今後とも協議・研究・調査が必要である。

②地熱温泉は、内部で検討して関係機関と調整したい。砂風呂は砂の熱湯消毒に高温の温泉が必要で、別の手法を考える必要がある。七つの薬草風呂は、地元運営協議会に打診してみたい。



七釜温泉ゆうらく館付近

合併検証格差はどうする

町長 出来るだけ早く一本化



西村 銀三 議員

坂エリアにも拡張したい。

商工業の取り組みは

問 17年度の決算では労働費は447万、商工費は2億6000万となっており、他の部門と比べると最も少ない。

今後高規格道路の完成に合わせ雇用の面から企業誘致など強力に推進すべきだ。

町長 決め手にかけている現状がある。既存企業の育成など総合的に取り組む。

町長 ①区長報酬は今年度一本化することはむづかしい。19年度からになる。

②下水道料金は合併5年以内に見直すことになっているが出来るだけ早く一本化したい。

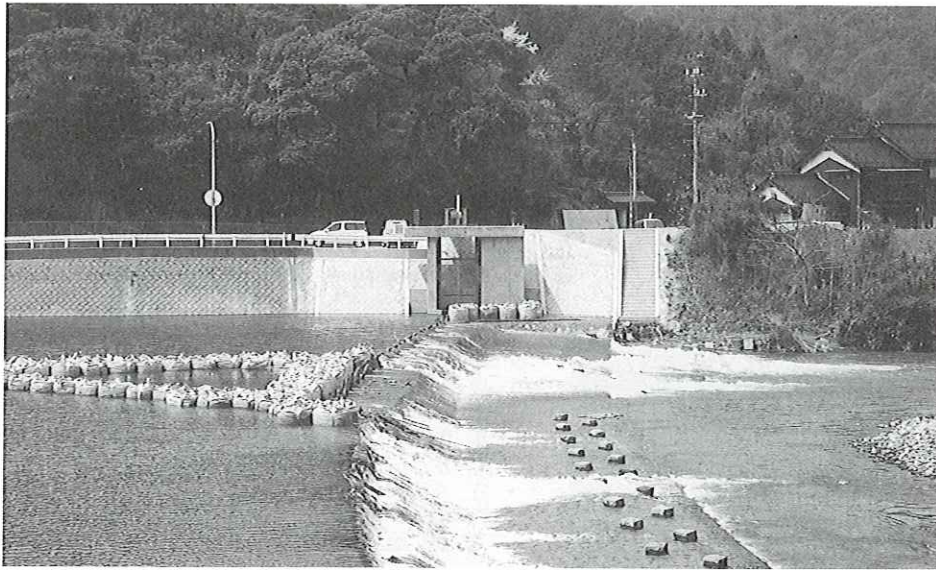
③テレビデジタル化への対応・インターネット・自主放送・防災機能など総合的システムとしてケーブルTVを浜



農業振興策は

問 農林水産課は災害対策などが中心で本来の役割である農業振興に力を入れるべきだ。

町長 国はいろいろな制度を作ってシステムの転換をはかっているが実効は上っていない。現行制度をさらに生かすべく取り組みたい。



新しくなった大庭井堰（栃谷）

学童保育の開設は

町長 19年度に一ヶ所実施



小林一義 議員

問 仕事と子育ての両立支援並びに児童安全確保の観点からも、一日も早い学童保育を実施せよ。

町長 19年度に一ヶ所を実施したい。

問 国の「放課後子どもプラン」は小学校に推進するとあるが当町はいつ実施するのか。

町長 将来的には全小学校区で実施したい。

問 乳幼児医療費を小学校6年まで無料にすべきだ。

町長 財政的に無理だ。

問 第3子の保育料の無料化と幼稚園の時間延長を早期に実施せよ。

町長 保育料は今後の検討課題だ。時間延長は実施する。

問 親の経済的負担の軽減と出生率アップの視点から第3子が生れたら50万円の祝い金を支給してはどうか。

町長 財政面では困難だ。

問 児童手当の拡充で乳幼児加算を追加支給し、支援すべきだ。

町長 これは現在政府も検討している。

障害者自立支援法が 変わる

問 全ての障害者が必要なサービスを公平に利用して地域で生活できるように基盤整備することだ。利用者の軽減策と対応はどうか。

町長 負担増にならない、個別の相談活動を充実し支援などを進めていく。



仲良く作業（いずみ作業所）

問 障害児に対する負担軽減を考えているか。

町長 成人より高い率だ。国の追加措置で対応する。

発達障害児の対応は

問 子どもを正しく理解し、支援することが大切だ。人権を認め障害にどう対処するのか。

町長 実態を把握し、早期発見に努める。

問 地域でサポートし、町民への啓発・啓蒙も

重要と考えるが。

町長 専門療育、関係機関と連携をとり進める。発達障害児は年々増える傾向にある。モデル校をつくり、そこから情報発信すべきだ。

町長 教育委員会との協議調整で積極的に進める。

問 早期発見に対する具体策は。

町長 専門機関との協調体制を構築する。

新町の農林水産ビジョンは

町長 計画策定の準備中



植田 光隆 議員

問 国、県そして但馬地域の農林水産ビジョンが5年10年後と策定されている。本町としても地域の特性を生かした、将来の展望を明確に示すべきと思うが。

町長 町としては、制度の検証を含めて、新たな目標を定める計画策定に向けて現在その準備をしている段階だ。今後、地域農業を推進する基軸は、認定農業者等の担い手と合せ集落そのものを再評価して10年後の日標を明確化し、地域農業の活性化を図る必要がある集

落営農組織の設立に向けプランの策定等、実践活動を支援していきたい。

問 長期ビジョン策定に当り、幅広く委員を集め政策審議されてはどうか。

町長 農業に対する組織は、振興協議会があり、この中でトータルプランの審議はされており、町として一定の考え方を整理しているが、具体的な展開が図れていない中で、有職者の意見を踏まえて担当課の調整の中でもう少しすそ野の広い具体的な策を模索したい。

環境関連課の設置

問 今日環境優先の社会を迎え、国は環境省、県は環境局、そして各市町に置いて何々環境課、部が設置されている。我町も環境業務を一つの課に配置しては。

町長 国、県も視野に入れた取り組みが求められている事は十分理解認識している。今この時期において窓口の一本化は、無理がある。他の自治体の調整している内容又現実的な対応がどこまで踏み込めるか内部で研究、検討したい。

問 ISO14001認証取得は。

町長 新温泉町全域へ展開を図りたい。

教育基本法の基本理念を守れ 教育長 憲法の精神を守る



谷口 功 議員

問 教育基本法は先の大戦で五千万人、アジアでは二千万人もの尊い命が犠牲となり、再び戦争をしない平和で民主的、基本的人権が尊重される社会の実現こそ戦後世界の一致した基本理念であった。その理念の下で制定された日本国憲法を、教育の力において実現しようとする制定された教育基本法のどこを、なぜ変えねばならないのか伺う。

り進められると考える。

問 戦争を知らない世代が七割を占める今日、愛国心の強制や教育への権力の介入は許されないが地域の自主的な教育が守られるのか。

教育長 改正案の中でその歯止めはあると考える。

問 歯止めはきかない。東京都の例がある。

教育長 確かに各自治体で色々な取り扱いがある。



子牛共進会審査風景（農村研修センター）

教育長 前回の答弁と基本的に変わらない。改正案は憲法の精神に則





浜坂病院に麻酔科

**医師確保は
最優先課題だ**

問 但馬医療確保対策協議会と、浜坂病院医療

体制検討委員会が設置されたが、それぞれの目的を説明願いたい。

町長 但馬の対策協議会

はそれぞれの病院の機能分担や連携、継続的、安定的な医師確保の方策を検討することだが、協議の中身は豊岡・八鹿病院を中心とした但馬全体のサテライト化である。浜坂病院でなければできない医療システム、診療科の検討

調整等である。

問 要するに但馬の対策協議会は医師確保の為

の協議会でなく、豊岡・八鹿病院に重点化、集約化をいかに進めるかということなのか。根本問題は国・県が医師の絶対数が不足していることを認めないことにある。

町長 それがすべてと言

えないが、浜坂病院としてああそうですかと言うわけにいかない。二次医療機関として期待されており、対応を構築したい。

**ケーブルテレビの活用を図るべき
町長 情報伝達活用マニュアルをつくる**



高橋 邦夫 議員

問 CATVは「情報公開」

「防災機能」の2つコンセプトがある。9月は防災月間であり、9月3日には県の合同防災訓練があった。CATVを「防災意識向上」に役立てるべきと提言してきたが、その検証を伺う。

町長 CATVだから出

来るものとして、予防・防災情報、予測情報、被害予測や情報、また救済情報などが考えられる。情報伝達のツールとしてのマニュアルを早急に図ってゆく。

問 消防団員への連絡ツ

ールとして携帯メール

は利用できないか。

町長 伝達方法の幅を広

げる観点で検討する。

冷水病の対策は

問 岸田川は源流から河

口まで我町にある。新町において、ひとつの心よりどころとなっている。その岸田川において、「冷水病」の被害が出て来ているが、認識と対処策を伺いたい。

町長 岸田川が与えてく

れる恩恵に鑑み、河川の有効利用や様々の対応策を、関係機関と連携し調査研究を進める。

**漁船の安全操業は
確保されたか**

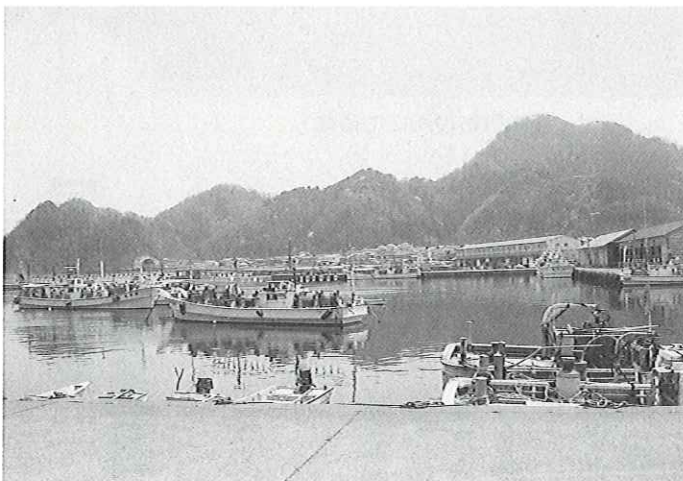
問 過日の自衛隊訓練に

よる事件はただ単に事前通告がなされなかつ

たから起きたものか、漁業従事者の生の声を聞かせて頂くと、以前にも艦隊との遭遇やリーダーでの拿捕不能場面など、自衛隊の訓練と安全操業には深い関係にある。但馬の漁業関係者、県・市・町が一体となって、船舶の安全を確立すべきだ。

町長 敵ミサイルをフレ

アと呼ばれる熱源で誘導し、船艇へ命中を阻止するため、性能評価試験により、漁船方向に戦闘機が異常接近したものである。防衛庁に対して情報提供・安全確保を図る連絡体制と船舶が確認できたら訓練の中止を申し入れた。今後も継続して安全確保に向け遺漏なきよう対応する。



諸寄漁港

総務・文教民生・産業建設常任委員会

合同で町づくり視察研修

平成18年8月21日(月)～22日(火)、3
 常任委員会が合同で徳島県鳴門市、三好
 市の2箇所で開催。議員19名、町長部局4
 名、議会事務局3名が出席して研修しま
 した。研修内容は各常任委員会ごとに報
 告します。

【総務常任委員会】

* 鳴門市の窓口業務の時間延長 取り組みについて

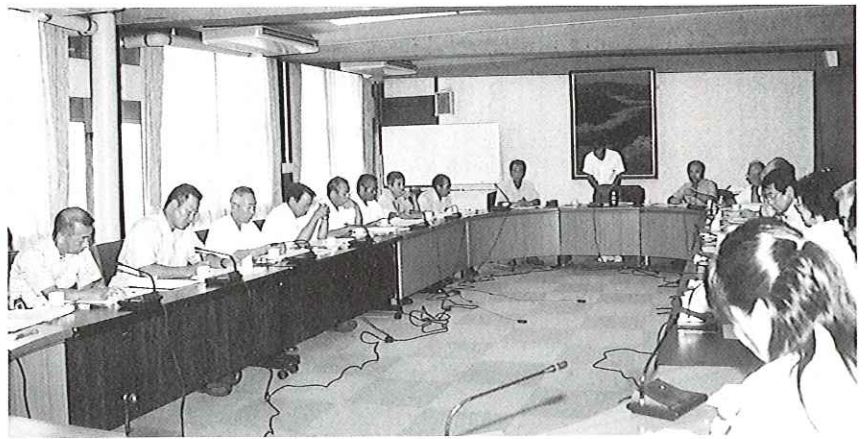
鳴門市は合併していない市であり、
 世帯数24,896世帯、人口64,
 131人、神戸淡路鳴門自動車道を経
 て神戸・大阪方面からの四国の玄関口
 となっている。地元発祥の大塚グルー
 プ関連の工場や企業、施設があり又鳴
 門競艇等で財政的には比較的安定して
 いる。

本庁での窓口業務時間延長の目的
 は、各地区に存在していた支所(3名
 体制)を連絡所(1名)にする行政改
 革を補完するもので、利用件数等から
 判断し、住民サービスの向上につな
 がっているとは自信もてなかった。

* 平成12年より1億3,400万
 円の巨費を投じて、自動交付機
 を導入している。

* 平成16年1月より、毎週木曜日
 に証明書交付サービスの1時間
 窓口延長を試行。

* 平成18年3月より、毎週木曜日
 2時間延長で現在に至っている。



鳴門市役所にて研修

【産業建設 常任委員会】

* 三好市の観光施策に ついて

平成18年3月1日徳島県西部
 6町村が合併して誕生した人口
 34,509人の広大な行政区
 域の三好市である。広大な面積
 と急峻な農山村であり、観光資
 源を連携した観光振興を目指し
 ているが、環境として厳しいも
 のを感じた。日帰り客は伸びて
 いるが、宿泊客は減少している。
 高速道路網の整備がストロー現
 象として現れている。沢山の観
 光資源に恵まれており、三好観
 光交流推進協議会を立ち上げ、
 体験型観光事業の取り組み、都
 市部の中学生の民泊受入れ等、
 積極的に展開を図っているが、
 これからという感想を受けた。

【文教民生常任委員会】

三好市はまだスタートしたばかりで、スクールバス運行の内容について、旧町（山城町）の取り組みを研修しました。

1. バス導入の経緯

過疎化の進行により4路線の内、2路線が国県の補助から外れ町単独路線となり、町の運行補助金が膨大な額となった。また山城中学校寄宿舎の交付税措置が打ち切られダブルパンチとなったことにより、2路線のバス事業者への補助金を打ち切り、代替え策として町民利用できるスクールバスの導入に踏み切った。

2. 参考となった事項

- (1) 過疎化の進むなかで、公共交通機関と補助打ち切り、並びに路線バス廃止という手段に取り組んだこと。
- (2) 道路運送法第80条を活用して国土交通大臣の許可を受

け、公共交通を自治体自ら運行する方法を手がけたこと。

- (3) へき地児童生徒援助費等補助金により取得したスクールバスの住民利用に係る承認申請を文部科学大臣宛にした行為。
- (4) 経費削減に着眼し、指定管理者制度にいち早く取り組んだこと。

3. 問題点と想ったこと

過疎の進む各町村が合併し、それぞれの旧町における住民サービス低下をきたさない方向が優先されている感を強く抱いた。旧5町村に総合支所を配し、職員も40人程度確保しているとのこと、財政的に果たして大丈夫だろうか。バス運行もいつまで続くのか疑問すら感じた。



三好市役所にて研修

まとめ

* 窓口業務の時間延長の取り組み

行財政改革、行政効率の視点も必要であるが、住民サービスの向上を忘れてはならないと痛感した。

* 観光施策の取り組み

海・山・温泉の恵まれた観光資源の相互補完、高速道路の整備で通過型になるおそれが極めて強く研究と対策が必要である。

* 住民が利用できるスクールバスの取り組み

運行管理業務を民間業者から最新の知識と技術・豊富な経験にもとづく企画提案を受け（提案方式）委託し、成果を上げており、研究する価値がある。



さし絵 清水伸子氏



JR西日本代表取締役副社長兼執行役員

丸尾 和明

大阪府箕面市在住
(湯出身)

「あなたの本籍地は次のとおり変更になりました」
昨年10月下旬のある日、我が家の郵便受けに新温泉町役場から町村合併に伴う本籍表示の変更通知が来ていた。
その日は、この通知書を手元に母と、親戚や知人、友人のこと、祭りや様々な行事など、なつかしい思い出に深夜まで話がつきなかつた。
ところで、古くから望郷の念を読んだ歌は多い。

奈良時代、遣唐使として派遣された阿倍仲麻呂の「天の原 ふりさけみれば 春日なる 三笠の山にいでし月かも」は余りにも有名であるし、また、石川啄木は「一握の砂」において「ふるさとの なまり懐かし停車場の人ごみの中にそれを聴きに行く」と詠っている。
人、ひとりひとりが故郷を持っており、故郷から離れた年月を経れば経るほど、ふるさとへの思いは強くなるものと言われている。

ふるさとの山はありがたきかな

思うに、幼少のころ、即ち、物心ついた頃の家族の団らん、四季の移りかわり、さまざまな出来事など、人間として成長して行く上での原体験がそこにあるからこそ、星霜を重ねたとしても心に刻まれているのであろう。

私が小学校3年生の時に、故郷湯村温泉を出てから早や半世紀近く経つ。大阪・東京・仙台・岡山・京都と様々な都市に居住し、名所、旧跡や自然に親しむとともに、その土地の持つ文化に触れてみたが、今でも、春になれば清正公園の桜、夏は塩谷での海水浴、秋は中山の牧場、冬は松葉ガニや厳しかった大雪のことが、そして、温小や祖父が勤務していた温中の運動会の様子がまぶたに浮んでくる。

「ふるさとは 遠きにおいて思ふもの そして悲しくうたふもの」(室生犀星)
との詩もあるが、私には「ふるさとの 山に向ひて 言ふことなし ふるさとの山はありがたきかな」(石川啄木)が、白煙たなびく湯の町への想いにふさわしい。
海・山・川と豊かな自然にはぐくまれた伝統と文化を有する我が故郷、新温泉町が、「新温泉町らしさ」を生かしつつ、将来にむけて発展されんことを大阪の地において祈念している。

議会日誌

- 10日 (7月) 温泉小学校安全祈願祭
- 12日 議会広報調査特別委員会
- 19日 " "
- 20日 " "
- 22日 北近畿豊岡自動車道春日和田山道路開通式
- 25日 美方郡但馬牛振興議員連盟設立総会
- 29日 正山高原エコミュージアム「ブランドオープン」式典
- 31日 京都府山城町議会視察
- (8月)
- 12日 びーちふえすた2006 しんおんせん
- 21、22日 新温泉町議会議員行政視察
- 23日 国道9号線改修期成同盟会通常総会
- 24日 産業建設常任委員会
- (9月)
- 1日 議会運営委員会
- 3日 兵庫県合同防災訓練
- 5日 議員全員協議会
- 6日 第6回定例会(1日目)
- 7日 " (2日目)
- 8日 産業建設常任委員会
- 11日 文教民生常任委員会
- 13日 総務常任委員会
- 14日 第6回定例会(3日目)
- 14日 総務常任委員会
- 20日 第6回定例会(4日目)
- 20日 文教民生常任委員会
- 20日 産業建設常任委員会
- 27、24日 議会運営委員会
- 20日 第6回定例会(5日目)

(10月)

- 4日 議会広報調査特別委員会
- 10日 産業建設常任委員会
- 12日 議会運営委員会
- 13日 議会広報調査特別委員会
- 19日 " "

FOCUS

▼寒露の季節、漁業では底引き漁がはじまり新鮮で種類豊富な魚が食卓をにぎわしています。安心安全な地元産の魚を大好き町民になっていただきたいと思ひます。

▼新温泉町の基幹産業である「牛」の「2006牛まつり」が大勢のお客様に来町いただきにぎやかに開催されました。より多くの方々に「但馬牛」を知っていただくように情報発信にとめたいと思ひます。

▼今回「ふるさと寄稿」に執筆いただきました、丸尾和明氏ありがとうございました。

「お詫びと訂正」

議会だより第3号「ふるさと寄稿」で住所、一般質問で氏名の誤りがありましたので訂正いたします。
住所▼三重県は滋賀県。
氏名▼高橋邦男は高橋邦夫でした。
以上訂正し深くお詫びいたします。

広報調査特別委員会	委員長	西村公健
	副委員長	寺谷西脇
	委員	田鶴植林
		小光義隆